

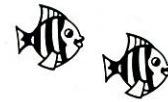
ノーズショート クラウンテトラ

分類：コイ目 カラシン亜目 カラシン科
 学名：*Distichodus sexfasciatus*
 英名：Nose-short clowntetra

原産地はアフリカのコンゴ(旧ベルギー領コンゴ)地方の淡水域で、体長40cmに達しカラシン科の中で最大の種とされている。淡水産熱帯魚の内でも大型の種類で、体側の横縞はスマトラ(*Barbus tetrazona*)とアマゾン河原産のレポリナス・ファシアタス(*Leporinus fasciatus*)を合せたような感じである。本属の最大の特色は背鰭が略々四角形に近いこと、口吻がやや突き出していること、及金色の体側に雄では顕著なる横縞が体を等分するように六本見えることで、雌はこの横縞がはっきり見られず不明瞭の縞模様となっている。



ノーズショート クラウンテトラ



スポテット クテナポマ

分類：スズキ目 キノボリウオ亜目 キノボリウオ科
 学名：*Ctenopoma acutirostre*
 英名：Spotted ctenopoma

西アフリカの熱帯淡水域特にコンゴ河の上流及中流が原産地で、大きさは約15cm位になる。体表に一面の数多の黒色斑紋があって、他種との識別は容易である。鱗は比較的大きく側線は途中で中断される。けんか好きのため他種との飼育は避けた方が良い。雑食性の大食漢で、小魚や水草の大きな切れ端など飲み込んでしまう。孵化時の水温は28℃～30℃と頗る高温で、卵殻は強い油成分のため、水表面近くを浮遊する。



スポテットクテナポマ

クテナポマの一種
C. fasciolatum